

日本環境教育学会第27回大会 エクスカーション（Cコース）

企画担当：三田秀雄（善福寺川を里川にカエル会）

■テーマ：都市における環境教育と市民団体との関わりについて
ー善福寺川を里川にカエル会の活動を通してー

■趣 旨：

東京は、ほぼ全域にわたって都市開発が進み、その多くの部分が都市化された。一見自然が豊かに残っているように見える場所であっても、森林は「林地」や人の手によってつくられた「雑木林」であり、河川は所謂「水路」となっている現状がある。特に河川については、50年余前に、源流のないものを「水路」とし、暗渠化して下水道に急造した歴史もある。また、都市環境の物質や人の激しい往来は、多くの外来生物を意図的、または意図せず大量に導入し、あらゆる在来種や固有種は危機的な状況にある。そのような環境の中で、子どもたちはどのように環境について学んでいけばよいのでしょうか。東京の環境のすべては「人間の問題」と結びついています。彼らがメダカについて学ぶとき、彼らが自分で見つけられるのは「カダヤシ」だったり、「ヒメダカ」だったり、します。そして「東京メダカ」はもうほとんどいないことも知らなくてはなりません。観察できるタンポポは「セイヨウタンポポ」であり、「カントウタンポポ」を見つけることが、なぜ難しいのかを、併せて知らなければならない現状があります。そしてそのことは、同時にこの問題をどう解決していけばよいのかを彼ら自身に突きつけることとなります。

東京では、環境について学ぶことは、単に身の回りの環境を知ることのみならず、環境行動に結びつかせるところまで、渾然一体となった環境教育を施すことを、必然的に要求されることとなります。これらを「教育」の専門家である教師だけで実践することは不可能です。そこで、我々「善福蛙」のような、環境団体のはたらきが重要となります。幸いなことに、東京には様々な環境団体が多数存在し、学校との連携は、学校と団体の双方の望むところがあります。

今回のエクスカーションでは、我々「善福蛙」の取り組みと小学生の協働によって、行政（杉並区）を動かし公園内に柵で閉じ込めていた水路を「みんなの夢水路」として解放することになった経緯などについて現地で解説し、都市における環境教育のあり方について、皆さんと議論し深めていきたいと考えています。

■日時：2016年8月5日（金） 14時00分～16時00分

■集合および解散場所：東京都立善福寺公園 ボート乗り場周辺

（JR 荻窪駅北口バス停より、南善福寺行バスにて、善福寺公園バス停下車 10分）

■定員：20名（最小催行人数5名）

■参加費：保険料として当日集めます

■注意：

猛暑が予想されます。暑さ対策、休憩場所での飲食代等各自ご用意ください。

■申込み方法：

以下の要領で8月4日（木）20時までに申込みをしてください。

定員になり次第締め切ります。

(1) 原則として、次のフォームからお申し込みください。

<http://goo.gl/forms/LgEX5fJjL9dxOw9i2>

(2) 上記フォームが使えない場合は、次の方法でお申し込みください。

(i) メールの場合：

タイトルを「エクスカッション参加希望」とし、本文に ① 氏名（ふりがな）、② ご所属、③ご住所、④ 電話番号（当日連絡がとれるものにしてください）、⑤ 年齢、⑥メールアドレス、を記入して、hideoknopfler@gmail.com までお送りください。折り返し、メールにて参加確認のご連絡させていただきます。

(ii) 郵便の場合：

上述の項目をご記入の上、下記までお送りください。

善福寺川を里川にカエル会

三田秀雄

〒167-0023

杉並区上井草1-26-13

■企画担当・問い合わせ先：

三田秀雄（みた ひでお） 善福寺川を里川にカエル会

E-mail: hideoknopfler@gmail.com